

報 日 事 薬

非臨床試験にPDSXマウス

マウスでヒト腫瘍を再現

トランスジェニック／
京ダイアグノスティクス

非臨床CROのトランス（PDSX）を用いた非臨床ジェニックと京都大学発。ベ床試験に関する業務提携契約を結んだ。トランスジェティクスは、癌患者から摘出した癌幹細胞を3次元培養し、細胞凝集（スフェロイド）を形成させ、それをマウスに移植した癌幹細胞スフェロイド移植マウス

した評価のサービス提供が可能になり、CRO事業で受託拡大を目指す。

トランスジェニックは、遺伝子破壊マウスの作成受

託をはじめ基礎研究支援から非臨床試験、臨床試験、さらには診断までカバーした創薬支援を展開している。今回、消化器癌の遠隔転移に関する診断法と治療法の開発に取り組む京ダイアグノスティクスが開発したPDSXマウスを用いた非臨床試験を実施することにした。

PDSXは、従来のPDX法に比べ、低コスト、約2カ月間の短期間で再現性が高いモデルマウスを作製することができ、癌の臨床病態解析や抗癌剤の評価に有用となっている。化学療法薬投与実験の結果は、大腸癌患者の臨床での薬効と一致することも示されているという。

京大が保有する癌幹細胞スフェロイドバンクと、トランスジェニックグループの非臨床試験技術を融合し、PDSXを用いた非臨床試験を創薬支援事業として提供していく。

2018(平成30)年10月17日 水曜日

記事二次利用許可済み